

大会役員

大会会長 西村 覚 (島根大学硬式庭球部)
大会顧問 高尾 義信 (愛媛県テニス協会常任理事)
大会委員長 金崎 祐介
大会副委員長 豊島 和
大会競技委員長 大田 恵士

前半 レフェリー 大田 恵士 中田 歩輝 下川 航
ディレクター 豊島 和

後半 レフェリー 金崎 祐介 篠崎 良羽 山口 将就
ディレクター 遠藤 雅 梶川 修史

～ 前 半 ～

<日 程>

9月2日(水)～9月4日(金) 予備日9月5日(土)9月6日(日)
リ ー グ 戦(1部)

<コート割>

会 場 <ハードコート> 愛媛県総合運動公園テニスコート

- ※ 試合開始時刻は10時とする。
- ※ オーダー交換は試合開始時刻20分前とする。
- ※ リーグ戦は3日間の予定です。

～ 後 半 ～

<日 程>

10月10日(土)～10月12日(月) 予備日10月17日(土)、18(日)
リ ー グ 戦(2部、3部)

<コート割>

会 場 <オムニコート>

広島経済大学、広島大学など

<日 程>

10月31日(土)～11月2日(月) 予備日11月8日(土)、9(日)
リ ー グ 戦(4部)

<コート割>

会 場 <オムニコート>

広島経済大学、広島大学など

～入 替 戦～

1～4 部入れ替え戦

<日程>

11月15日(土)～11月16日(日)

予備日 11月21日(土)、22日(日)

<コート割>

会場 広島大学、広島経済大学、広島修道大学など

中国四国学生テニス史王座戦

(男子)

昭和	30年	松山商大
	31年	松山商大
	32年	松山商大
	33年	山口大学
	34年	岡山大学
	35年	松山商大
	36年	山口大学
	37年	山口大学
	38年	松山商大
	39年	広島商大
	40年	広島商大
	41年	広島商大
	42年	広島商大
	43年	広島商大
	44年	山口大学
	45年	山口大学
	46年	広島大学
	47年	岡山大学
	48年	山口大学
	49年	徳島大学
	50年	広島大学
	51年	広島大学
	52年	広島大学
	53年	広島大学
	54年	広島大学
	55年	広島大学
	56年	広島大学
	57年	広島大学
	58年	広島大学
	59年	広島大学
	60年	広島修道大学
	61年	松山商科大学
	62年	松山商科大学

(女子)

51年	広島大学
52年	広島大学
53年	広島大学
54年	広島大学
55年	広島大学
56年	広島大学
57年	広島大学
58年	広島大学
59年	安田女子大学
60年	安田女子大学
61年	岡山大学
62年	安田女子大学

	63年	松山商科大学		63年	愛媛大学
平成	元年	松山商科大学	平成	元年	愛媛大学
	2年	松山大学		2年	愛媛大学
	3年	松山大学		3年	広島大学
	4年	松山大学		4年	広島大学
	5年	広島大学		5年	愛媛大学
	6年	松山大学		6年	松山大学
	7年	松山大学		7年	松山大学
	8年	松山大学		8年	松山大学
	9年	松山大学		9年	広島経済大学
	10年	松山大学		10年	広島経済大学
	11年	広島経済大学		11年	松山大学
	12年	松山大学		12年	広島経済大学
	13年	広島経済大学		13年	松山大学
	14年	松山大学		14年	広島大学
	15年	松山大学		15年	島根大学
	16年	松山大学		16年	島根大学
	17年	松山大学		17年	島根大学
	18年	松山大学		18年	香川大学
	19年	松山大学		19年	島根大学
	20年	松山大学		20年	松山大学
	21年	松山大学		21年	松山大学
	22年	松山大学		22年	岡山大学
	23年	松山大学		23年	岡山大学
	24年	松山大学		24年	岡山大学
	25年	松山大学		25年	松山大学
	26年	松山大学		26年	松山大学
	27年	松山大学		27年	広島大学
	28年	松山大学		28年	岡山大学
	29年	松山大学		29年	岡山大学
	30年	松山大学		30年	松山大学
	31年	松山大学		31年	愛媛大学
令和	元年	松山大学	令和	元年	松山大学

2年	大会中止	2年	大会中止
3年	松山大学	3年	松山大学
4年	岡山大学	4年	松山大学
5年	岡山大学	5年	松山大学
6年	岡山大学	6年	松山大学
7年	愛媛大学	7年	松山大学

令和7年度 全日本大学対抗テニス王座決定試合 中国四国地区大会 注意事項

1、出 場 資 格

(1)中国四国学生テニス連盟に加盟する4年制大学において最大4回出場できる。但し、医学部系においては最大6回、短期大学は最大2回とする。また、他大学からの編入の場合は合計4回とする。但し、留学・休学等によって在籍年数が1年もしくはそれ以上延長される場合は学連にその旨を証明できる書類を提出することによって、登録期間の延長を認める場合がある。

(2)留学生の扱いについて

学生テニス連盟に個人登録を希望する留学生は、各地区所定の履歴書を記入し、核当する地区の学生テニス連盟に提出すること。海外での選手活動によっては、国内の編入と同等の扱いになり、制限を加えられることがある。

補足：海外の活動を偽り、悪質と判断した場合は、核当大学に対して厳正な処分を下す。

(3)プロフェッショナル選手の学生大会出場について

プロフェッショナル登録選手について：

プロフェッショナル登録を行っている選手は大学在籍に関わらず全日本学生テニス連盟並びに各地区学生テニス連盟が主催する大会に出場することはできない。

プロフェッショナル登録からアマチュア選手に登録変更を行った場合：

プロフェッショナル登録からアマチュア選手に登録変更を行った場合、アマチュア変更後から1年間、全日本学生テニス連盟並びに各地区学生テニス連盟が主催する大会に出場することが出来ない。

補足：アマチュア登録後1年間であり、大学に在籍してから1年間ではない。

2、組 合 わ せ

・組み合わせは男子、女子ともに前年度順位に基づき以下の通りとする。

第1日 1位－4位 2位－3位

第2日 1位－3位 2位－4位

第3日 1位－2位 3位－4位

※また、男女共最下部は、トーナメントを原則としてとり行う。

3、順 位 決 定

・リーグ戦による団体戦で勝ちポイント数により勝敗を決定する。

但し、最下部校はトーナメントによって勝敗を決する。

総当たりリーグ戦における順位決定方法は『JTA ルールブック 2026』を参照のこと。

4、入替戦

- ・各部4位校は、次の部の1位校と入替戦を行う。但し、男女共最下部校の入替戦は上位2大学が行うものとする。

5、試合形式

- ・男子 3セットマッチ各セット6-6後ITF7ポイントタイブレーク方式
ダブルス：3ポイント シングルス：6ポイント
- ・女子 3セットマッチ各セット6-6後ITF7ポイントタイブレーク方式
ダブルス：2ポイント シングルス：3ポイント

6、出場順位

- ・中国四国学生テニス連盟規約（以下 連盟規約）を参照のこと。
※選手が必要本数に満たない場合は第1位より順に入れるものとする。

7、試合順序

- ・男子 ダブルス 第3位から順次第1位まで
シングルス 第6位から順次第1位まで
- ・女子 ダブルス 第2位から順次第1位まで
シングルス 第3位から順次第1位まで
- ・原則として以上の通りであるが、天候や試合状況等により大会委員会の判断で勝敗決定後打ち切ることがある。基本的に男子は3面進行、女子は2面進行で行うが、進行上の都合、それ以上になる場合もある。

※シングルス No6、No5 のレストの状況によってはNo3、No2 を先に入れるものとする。

シングルス No1 についても同様とし、敢えて残すことはない。

8、試合開始時刻

- ・試合開始時刻は原則として男子、女子ともにダブルスを午前10時から行うものとし、引き続きシングルスを行うものとする。

9、オーダー

- ・選手出場順位は、連盟規約（年度要項参照）に従うものとし、大会委員会と相手校提出用の2通を用意すること。
- ・オーダー用紙は学連指定のものを原則とし、毛筆またはペン書によるものとする。
用紙には必ず対戦校、日付、オーダーを列記すること。
訂正は二重線と印を押すことにより認める。
正式名称は、学連にエントリーされているものとする。
尚、オーダー交換後のオーダー変更、訂正は一切認めない。
但し、誤字は両校の良識に任せるものとする。

10、オーダー交換

・オーダー交換は各種目試合開始前に指定されるコートに出場選手が整列し、試合開始の20分前に行うこと。整列していない選手が試合に出場する場合は該当選手の試合のみを没収試合とする。また閉会宣言時には各種目出場選手が整列する。このとき何らかの理由で整列できない場合には、事前に担当学連と相手校に申し出ること。尚、シングルのオーダー交換は、ダブルスの試合終了後即座に行う（オーダーを書き換える等の時間は認める）。また、整列時はウェアを着用しておく。

ウォームアップを着用する場合も中にウェアを着用していなければならない。

11、没収試合

- (1) 学生スポーツ精神に反すると大会委員もしくはレフェリーが認めた当該試合。
- (2) オーダー交換時に、出場選手が整列していない場合のその当該試合。
- (3) 試合開始の際、出場選手が試合に入らない場合のその当該試合。
- (4) 連盟規約に反した場合はその当該試合。（レフェリー、コートレフェリー、審判が確認したもののみ）
- (5) インプレー中に痙攣などでプレーが中断している場合、その選手にダブルスパートナー以外が触れたらその試合は没収となる。
- (6) オーダー交換時、相手校提出用と学連提出用を間違えて提出した場合。
- (7) オーダー用紙の記入事項に重大な過ちがあると大会委員会もしくはレフェリーが認めた場合。

12、質疑（クレーム）

試合中のクレームは『JTA ルールブック 2021』に則り裁決する。また、コート外での大会の実務に関することを学連に質疑応答する権利をもつ者のことを質疑担当者といい、コート内での法的な質疑応答は、ベンチコーチが行うものとする。尚、抗議の対象は大会本部のみであり、相手校及び相手選手に対しては抗議することができない。

・選手

選手は、審判にそのプレーに対する判定に質疑することはできる、ただし、レフェリー（コートレフェリー）に直接質疑することはできない。また、選手は自校の応援をコントロールする義務がある。

・ベンチコーチ

ベンチコーチは審判によるレフェリーへの要請なくしては質疑・抗議ともにできない。服装については問わないが必ずテニスシューズを着用するものとする。

・審判－SCU

審判はベンチコーチがレフェリーを要請した場合、ゲームの進行上、支障がなければ

コートチェンジの際にレフェリーとベンチコーチの質疑の対応ができるようにすること。但し、ポイントの判定による場合、直ちにレフェリーを呼ぶこと。更に、怪我やコード・オブ・コンタクト、アクシデントが起こった場合は、レフェリーをコートに呼んでおくこと。

13、雨天及び日没の際の処置

(1) 試合の可、不可にかかわらず出場選手は各会場に試合開始20分前までに参集する。

試合可能を決定し、オーダー交換時に出場選手のいない場合は棄権とみなす。またその際の処置はオーダー交換の場合と同様である。

尚、大会委員会が時間待ちにより試合可能と判断した場合は、改めて試合開始時間を決め直す。

(2) レフェリー又は両校代表者が、雨天及び日没により試合不可能と判断した場合、

その対戦の中止、中断、打ち切りをすることができる。中止、中断の場合はその

試合の再開の時刻及び会場はレフェリー又は両校代表者によって決定される。決定次第担当学連にその場で報告する。両校で意見が食い違った場合は最初の決定日時またはレフェリーが判断する。

※日没は新聞発表の時刻を原則とする。

14、服 装

・服装はカラーウェアの着用を認めるものとする。男子はシャツにパンツ、女子はワンピース又はシャツ(Tシャツは不可)にスカートあるいはショーツとする。但し、蛍光色のウェアなどで対戦相手からのクレームがあった場合着替えることで対応することがある。尚、ウォームアップスーツ等の着用は、ウォームアップ時に限定する。しかし異常寒波等により大会委員会が認めた場合はその限りではない。試合中の服装でチーム名を表す名称以外の製造業者の標準ロゴでテニスルールブックに記載されているサイズを超えるものは認めない。なお、大学でウェアを揃える必要はない。

15、棄 権

自然的体力消耗(筋ケイレン)による試合中断は随時ポイントペナルティー制度を適用する。自然的体力消耗による処置はチェンジコートの間のみ可能。

尚、偶発的事故による怪我のために試合続行できなくなった場合は、

1回の事故につき1回だけ3分以内の治療を認める。

※治療は本人、又はダブルスパートナーで行うのが原則であるが、本大会は大抵トレーナーが存在しないことを考慮し、ベンチコーチ・質疑応答者による処置を認めるものとする。治療時間をとりたい時はベンチコーチが主審にその旨を告げ、主審からコートレフェリーに連絡するものとする。

※治療時間は治療開始から3分以内とする。(処置を開始してから3分であり、診察は含まれない。)

16、応 援

・応援は拍手と自チームへの声援を原則とする。即ち、応援とは試合を盛り上げ、自校のチームを勝利に導くためのものであって相手校をやじるためのものでない。よって、相手校を侮辱する応援、ジェスチャー、器具などを用いての相手校、相手選手、審判などの心理を攪乱させるような行動及びプレーの妨げとなる行為をしてはならない。但し、歌、連呼はチェンジコート間でかつ両隣りのコートがプレーをしていない場合は行っても構わない。学生スポーツ精神に反し、良識を欠くとみなされる場合にはレフェリー又は審判が客観的に判断し処分する。

※やじなどの不正な応援に対する処分 (応援者に対して)

- 1 回目・・・警告
- 2 回目・・・応援拍手のみ
- 3 回目以降・・・注意のみ

尚、その行為が故意でないとしても同様である。

17、審 判

・審判は SCU とする。規定は全て『JTA ルールブック 2021』に則るものとする。
その他、審判の判定に関して問題が起きた場合は大会本部がルールに従って判断する。
尚、審判の変更は原則として認めない。また人員不足の場合はセルフジャッジとする。

18、ベンチコーチ

・資格

ベンチコーチは 1 面 1 名、出場校のテニス部員で、中国四国学生テニス連盟に加盟している部員(改めての登録は不要)。それ以外の者は、大会を通じて 1 日につきのべ 2 名までベンチコーチとして随時大会本部にて登録することができる。

・入退場

ベンチコーチに関して、交代は 1 試合につき一回のみとする。但し、入退場に際してはコートレフェリーにその旨を伝える。必ず 90 秒のエンドチェンジ間、セットブレイク間に入退場すること。

※ベンチコーチは 90 秒のエンドチェンジ間、セットブレイク間以外に立ち上がったり、選手に触れたり、話しかけたりしてはならない。

それに違反した場合

- 1・2 回目・・・警告
- 3 回目・・・退場

尚、その行為が故意でないとしても同様である。

また、退場した場合その試合中の代理は認められない。

19、ボールパーソン

- ・ボールパーソンをつけるかどうか、或いはどのようにつけるかは両校代表者の話し合いで決めるものとする。ボールパーソンは両校の同意の上、良識の範囲内であれば1コート4名(各大学2名まで)つけることができるが、一切の応援を禁ずる。

※ボールパーソンは応援のみならず選手と会話してはならず、また触れてはならない。
ペナルティは当該選手に対しての応援の事項と同様とする。

20、プレイヤーについて

- ・学生スポーツマンシップに反し、コートマナー及び競技規制を厳守せず学生精神の向上並びに学生テニス界の発展、統一に支障をきたす選手は当該ポイント失格のうえ幹事会において処分する。
- ・学生スポーツ精神に反する態度(暴力など)をとった大学を全日本大学テニス王座決定試合に推薦しない場合がある。

21、試合球

- ・使用ボールは公認ダンロップフォートテニスボール(イエロー)とする。ボールチェンジは、1部は9-11、2~4部はファイナルチェンジとし試合中のパンク・ロストについては、コートレフェリーが試合進行状況から判断し処置する。

22、ポイントペナルティ制度

- ・本大会はポイントペナルティ制度を採用する。この制度は、スポーツマンシップの高揚と試合秩序の維持を図り、コートマナー及び競技諸注意規則を厳守させることにある。

(1) 試合の遅延(ポイント間20秒)及びコートチェンジの遅延(90秒)のとき。

(注) しつこい抗議、及びウォームアップの時間が経過したあとの遅延について、負傷による中断後の試合開始について、それぞれの試合を開始又は再開するよう指示を受けた後、さらに20秒以上遅延したときにも適応される。又、タイムバイオレーションについての測定は、アンパイア(レフェリー)が所有する時計による。

(2) スポーツマンシップに反する行為があったときには、ペナルティを科す。

1回目・・・警告

2回目・・・失点

3回目以降・・・失ゲーム(違反のたびに)

23、ウォーミングアップ

- ・試合におけるウォーミングアップは3分または5分以内とする。時間は大会や天候により異なり、大会委員会がそれを決定する。プレーが中断し、再開するときには次のウォームアップ時間が許される。

ウォームアップ時間	15分以下の中断	15分を超える中断	30分を超える中断
3分	なし	3分	3分
5分	なし	3分	5分

24、トイレトブ레이크

(男子)

- 1 試合にシングルス1回、ダブルス1組1回、トイレトを理由に原則としてセットブ레이크時に理にかなった時間で取ることができる。ただし、状態が深刻であるとアンパイアが判断した時は例外とする。

(女子)

- 1 試合にシングルス・ダブルス(ペアで)ともに1回、トイレトブ레이크又は着替えのいずれかの理由で、原則として理にかなった時間のトイレトブ레이크を取ることができる。(セットブレイク時が望ましい。着替えはセットブレイク時のみとする。)

(ベンチコーチ)

- 選手と同じ時にトイレトブ레이크をとることができる。この場合は選手と共にトイレトブレイクに行くことができる。しかし、トイレトブ레이크中に観客等の第三者と話した場合はベンチコーチに戻ることができない。また、その後のベンチコーチの補充もできない。また、ベンチコーチ自らトイレトブ레이크を申し出ることにはできない。

※1：ウォームアップ中も試合中と同様、回数に数える。

※2：トイレトブ레이크は、コートレフェリー(2部以下は相手校の主務)がついていく。

※3：トイレトブ레이크終了後は余りのレストの時間は使用できない。(90秒以上トイレトブ레이크にかかった場合)

25、試合間の休憩時間

- ・前に行った試合のセット数×15分を次の試合までの休憩時間とする。但し、前の試合が途中で30分以上中断された場合には再開された後のセット数のみ計算に入れる。

26、移動式通信機器

- ・電源をONにした状態でのコート内への携帯電話・PHS等の持ち込みは禁止。もし試合中にそれらが鳴った場合、ポイントペナルティ制度に対象となる。

27、その他

- ・大会委員は、大会必要事項に関して最終決定権を有する。
- その他のルールについては JTA ルールに基づく。

・様々な場合の処置について

- 1) オーダー用紙が相手校もしくは大会本部に渡らなかった場合
 - ・相手校用 本部用 2 通とも渡らなかった場合 - 失格
 - ・どちらか 1 通が渡らなかった場合 - 失格
- 2) オーダー用紙が相手校用・大会本部用で異なる場合
 - ・相手校がそのオーダーを選択し、試合を行う。
- 3) オーダー用紙に間違いがあった場合
 - イ) 対戦校または日付の間違いがあった場合
 - ・注意
 - ロ) 出場順位に間違いがあった場合
 - ・1 回目は警告及び出場順位の違う箇所を中国四国学生テニス連盟規約に基づいて適正な順位に直す。
 - ・2 回目以降は相手校がそのオーダーを決定し、試合を行う。
 - ハ) 同じ選手の名前を複数書いた場合
 - ・出場順位に誤りが起こらない限りは、出場順位の低い方を def とする。
 - ニ) 登録されていない選手があった場合
 - ・その試合を没収する。
 - ホ) 部印がない場合
 - ・注意
- 4) オーダー交換時に選手が更衣（テニスウェア着用、但しその上にウォームアップスーツ等の着用を認める）を済ませてなかった場合
 - ・1 回目警告、2 回目以降そのプレイヤーは、サーブ/エンドの選択権及び第 1 ゲームを失う。
- 5) 試合前のウォーミングアップが終わった後に選手がコートを出た場合
 - ・そのプレイヤーは失格
- 6) オーダー用紙の間違いに関して
 - ・1, 2 回目注意、3 回目警告
- 7) その他の場合は、当事校と本部が話し合っ決定する。

<男子の部>

1 部 校					
	愛大	松大	岡大	徳大	順位
愛大					
松大					
岡大					
徳大					

3 部 校					
	香大	島大	鳥大	近大	順位
香大					
島大					
鳥大					
近大					

2 部 校					
	広大	経大	山大	高知	順位
広大					
経大					
山大					
高知					

○4部校

・別紙参照

<女子の部>

1 部 校					
	松大	島大	山大	広文化	順位
松大					
島大					
山大					
広文化					

2 部 校					
	愛大	岡大	広大	安田	順位
愛大					
岡大					
広大					
安田					

3 部 校					
	経大	修大	香大	徳大	順位
経大					
修大					
香大					
徳大					

○4部校

・別紙参照